

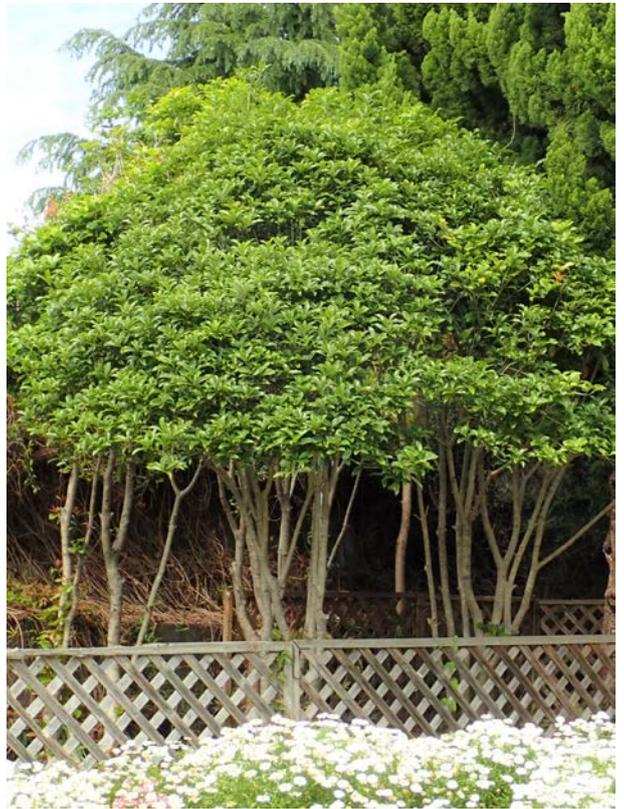
キンモクセイ

モクセイ科・モクセイ属（常緑小高木）

特徴

樹高2～6mほど、幹の太さは50cm～1mほどに生長します。主に常緑の庭木や街路樹として好まれ、初心者にも育てやすく、観賞用に植えられています。

キンモクセイは雄花と雌花が別の株につき、雌株にだ円形の実がなります。日本には花が多い雄株だけが中国から持ち込まれたために、現在庭などで見られるキンモクセイは実が付きません。9月下旬から10月下旬には、強い芳香のあるオレンジ色の小さな花を枝に密生させて咲きます。暖地を好み、寒さにはやや弱く、関東地方以西の地域での栽培が適しています。



場所

地植えが中心ですが、鉢植えでも育てられます。やや日陰でも育ちますが、十分に日が当たる場所の方が花つきがよくなります。

用土

土質は特に選びませんが、水はけがよく肥よくな壤土質の土が適しています。

水やり

根づいてしまえば、庭植えでの水やりは特に必要ありません。夏の高温で極端に乾燥する時期の水切れには注意します。

肥料

2月下旬から3月に肥料を適量与えます。

植え付け

3月から4月に行います。成木になってから移植すると数年間開花しなくなることがあります。鉢植えの場合は数年に1回程度植え替えをします。

地面に苗の2倍ほどの植え穴を掘り、掘りあげた土に堆肥や腐葉土、肥料などを混ぜ合わせます。混ぜ合わせた土を植え穴の3分の1程戻し、中央に苗木を置き、残りの土を戻して埋めます。植え穴のまわりを高く盛って囲うように水鉢を作り、水が溜まるぐらまで水を入れます。植木を左右に傾けながら水を注いでいきます。苗木を傾けて、ゆらしながら水を注ぐと土中の空気が抜けるので効果的です。水が引いたら支柱を立て苗木と結束を行います。

剪定

夏に花芽をつくり、その年の秋に開花します。そのため、剪定は秋の開花後から翌春の4月までに行ないます。それ以降は徒長枝などを切る程度にします。刈り込みに耐え、よく萌芽するので好みの樹形に仕立てることができます。